

お知らせ目次

行事等予定.....50頁

総合

第187回春季講演大会懇親会のお知らせ（日本金属学会と共催）.....53頁

本会論文誌「速報論文」の趣旨紹介と「ISIJ International」での「速報論文/Short Article」新設について53頁

「鉄と鋼」創刊110周年記念事業「論文奨励賞」（若手対象の論文賞）新設と2023年掲載論文の「論文奨励賞」候補論文の自薦・共著者推薦について（推薦締切日：2024年3月18日）.....54頁

「鉄と鋼」第110巻2024年11月発刊特集号「インフラ構造物の腐食劣化に対する診断技術・評価技術・データ利活用技術」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年5月1日）55頁

「鉄と鋼」第111巻2025年2月発刊特集号「溶銅の凝固過程における非金属介在物の生成・成長・変性機構の解明を目指す最新研究」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年8月31日）.....55頁

「鉄と鋼」第111巻2025年4月発刊特集号「溶融めっき皮膜の機能創出に向けた構造制御の基礎と応用技術」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年9月30日）.....56頁

「ISIJ International」2025年5月特集号「Challenges to comprehension for phenomena of degradation, softening, and melting of raw materials in hydrogen-enriched ironmaking process（水素富化製鉄プロセスにおける原料の粉化・軟化・溶融現象の理解への挑戦）」原稿募集のご案内（投稿期限：2024年11月15日）.....56頁

イベント情報

鉄の技術と歴史研究フォーラム 第43回フォーラム講演会（ハイブリッド講演会）幕末・明治期の鉄研究会 第3回講演会 開催案内.....57頁

第3回Meetシリーズ「Material Meets Data」開催のご案内58頁

次号目次案内.....59頁

会員欄（入会者・死亡退会者一覧）59頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。
行事等の詳細は、本会Webサイト、イベントカレンダーリンク先URLをご参照ください。
他団体主催の行事は中止や延期になっていることもありますので、主催者等にご確認願います。

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2024年1月			
5日	第1回On-demand講座《オンライン開催》	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
10日	第187回春季講演大会 一般講演、予告セッション、共同セッション申込締切(11号840頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
12日	第109回レアメタル研究会(東京およびオンライン)	東京大学生産技術研究所 岡部徹	岡部研究室 宮寄智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
15, 16日	最近の化学工学講習会72「化学工学系流体シミュレーションの最前線～基礎・実践・将来展望～」(東京およびオンライン開催)	化学工学会 関東支部	事務局 Tel. 03-3943-3527 kanto@scej.org
16日	第19回SPring-8金属材料評価研究会/ 第97回SPring-8先端利用技術ワークショップ「金属材料開発におけるSPring-8活用の最近のトピックス」(大阪)	SPring-8利用推進協議会	濱本美和子 Tel. 0791-58-2785 hamamoto@spring8.or.jp
19日	溶接トラブル事例に学ぶステンレス鋼の有効活用と信頼性確保・設計者のための溶接管理技術・講習会(福岡およびオンライン開催)	日本溶接協会 特殊材料溶接研究委員会	業務部 染谷直登 Tel. 03-5823-6324 naoto_someya@jwes.or.jp
19日	第129回シンポジウム「カーボンニュートラルを実現する水素社会とアルミニウム」(東京およびオンライン開催)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
23日	腐食防食部門委員会第352回例会(大阪)	日本材料学会	Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
23日	ASMEとJISにおける压力容器規格の最新動向《オンライン開催》	日本高圧力技術協会	Tel. 03-3516-2270 tanaka@hpj.org
23, 24日	第31回超音波による非破壊評価シンポジウム(東京)	日本非破壊検査協会	学術課 別府 Tel. 03-5609-4015 beppu@jsndi.or.jp
26日	第130回シンポジウム「軽量車両構体の信頼性を高めるための材料評価技術～難燃性マグネシウム合金を事例として～」(東京およびオンライン開催)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
26, 27日	第29回高専シンポジウム(新潟およびオンライン開催)	高専シンポジウム協議会	Tel. 0859-24-5162 jimu@kosen-sympo.org
27日	鉄の技術と歴史研究フォーラム 第43回フォーラム講演会(ハイブリッド講演会)幕末・明治期の鉄研究会 第3回講演会(東京 本号57頁 申込締切1月15日)	日本鉄鋼協会	古主 泰子 dzs03530@nifty.com

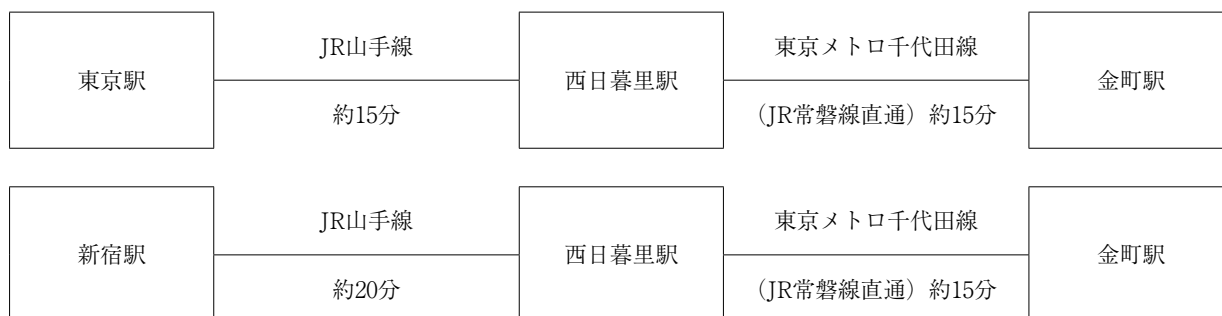
	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
29, 30日	2023年度第4回熱処理技術セミナー(東京およびオンライン開催)	日本熱処理技術協会	事務局 Tel. 03-6661-7167 jsht-honbu@jsht.or.jp
30, 31日	第52回ガスタービンセミナー(東京およびオンライン)	日本ガスタービン学会	事務局 Tel. 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp
31日	第355回塑性加工シンポジウム(愛知)	日本塑性加工学会	企画委員会 井村 Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
31日～2月2日	InterAqua 2024 第15回水ソリューション総合展(東京)	(株)JTBコミュニケーションデザイン	InterAqua事務局 interaqua@jtbcom.co.jp
2024年2月			
2日	第3回Meetシリーズ「Material Meets Data」(東京およびオンライン開催 本号58頁)	学術変革領域(A)「データ記述科学」	京都大学 平岡裕章 参加登録 https://forms.gle/iy2kvntUHQE7CxW9
2日	第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」(第10回)《オンライン開催》	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
2日	第1回On-demand講座《オンライン開催》	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
10日	日本鉄鋼協会・日本金属学会 中国四国支部 第55回 若手フォーラム(岡山)	日本鉄鋼協会 日本金属学会 中国四国支部	岡山大学工学部 竹元嘉利 Tel. 086-251-8027 tanutake@okayama-u.ac.jp
19日	第356回塑性加工シンポジウム(京都)	日本塑性加工学会	企画委員会 井村 Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
29日	「鉄と鋼」第110巻2024年8月発刊特集号「エリアセンシングによる製鉄所設備診断」原稿募集締切(10号773頁)	日本鉄鋼協会	広島大学 石井 抱 Tel. 082-424-7692 iishii@hiroshima-u.ac.jp
2024年3月			
1日	第1回On-demand講座《オンライン開催》	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
1日	「鉄と鋼」第110巻2024年9月発刊特集号「鉄鋼関連材料に関連する非破壊/オンサイト分析法」原稿募集締切(10号773頁)	日本鉄鋼協会	東北大学 今宿 晋 Tel. 022-215-2132 susumu.imashuku.e8@tohoku.ac.jp
1日	第110回レアメタル研究会(東京およびオンライン)	東京大学生産技術研究所 岡部徹	岡部研究室 宮寄智子 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
4, 5日	ウィンタースクール「トポロジー最適化の基礎～積層造形によるものづくりへの応用～」(東京)	日本計算工学会	事務局 石塚弥生 Tel. 03-3868-8957 https://www.jsces.org/inquiry/index.html?to=0003
5～7日	2023年度量子ビームサイエンスフェスタ(茨城)	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所、他	2023年度量子ビームサイエンスフェスタ事務局/日本原子力研究開発機構J-PARCセンター、根本恵子 Tel. 029-287-9612 qbsf2023-office@cross.or.jp
11日	第49回「組織検査用試料の作り方(組織の現出)」講習会(東京)	材料技術教育研究会	MS講習会事務局 (株)山本科学工具研究社内 Tel. 047-431-7451 jimukyoku@mskoshukai.jp
13日	第187回春季講演大会懇親会(東京 本号53頁 予約申込締切2月22日)	日本鉄鋼協会	総務グループ Tel. 03-3669-5931
13～15日	第187回春季講演大会(東京 11号840頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
18日	2023年掲載論文の「論文奨励賞」候補論文の自薦・共著者推薦締切(本号54頁)	日本鉄鋼協会	編集グループ Tel. 03-3669-5933 editol@isij.or.jp
18日	2023年掲載論文対象の「依論文賞」「澤村論文賞」「ギマラエス賞」候補論文の自薦締切(10号775頁)	日本鉄鋼協会	編集グループ Tel. 03-3669-5933 editol@isij.or.jp
31日	「鉄と鋼」第110巻2024年10月発刊特集号「鉄鋼業における攻めの操業を支えるシステムレジリエンス」原稿募集締切(10号774頁)	日本鉄鋼協会	神戸大学 藤井 信忠 Tel. 078-803-5364 nfujii@phoenix.kobe-u.ac.jp
2024年4月			
26日	「ISIJ International」2025年1月特集 Forming and heat treatment technologies that support the steel manufacturing process (鉄鋼製造プロセスを支える加工と熱処理技術)原稿募集締切(10号775頁)	日本鉄鋼協会	東京電機大学 柳田 明 Tel. 070-7667-9096 yanagida@mail.dendai.ac.jp 岡山大学 上森 武 Tel. 086-251-8033 uemori@okayama-u.ac.jp 日本製鉄 大塚 貴之 Tel. 070-3914-4745 otsuka.6gx.takayuki@jp.nipponsteel.com
2024年5月			
1日	「鉄と鋼」第110巻2024年11月発刊特集号「インフラ構造物の腐食劣化に対する診断技術・評価技術・データ活用技術」原稿募集締切(本号55頁)	日本鉄鋼協会	物質・材料研究機構 構造材料研究センター 片山英樹 Tel. 029-859-2541 KATAYAMA.Hideki@nims.go.jp
22, 23日	第13回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO 2024-(愛知)	名古屋国際見本市委員会	Tel. 052-735-4831

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2024年6月			
17～19日	12th International Conference on Molten Slags, Fluxes and Salts (MOLTEN 2024) (Australia)	AusIMM	conference@ausimm.com.au.
2024年7月			
3～5日	第61回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	学術振興部学術課 Tel. 03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp
31日	[ISIJ International] 2024年12月特集号「New Developments in High Temperature Processing of Steels and Related Materials Leading the Sustainable Society, and Key Properties of High Temperature Melts(持続可能社会の実現を支える鉄鋼および関連材料の高温プロセッシング、ならびに融体物性に対する新展開)」原稿募集締切(10号774頁)	日本鉄鋼協会	大阪大学 鈴木賢紀 Tel. 06-6879-7468 suzuki@mat.eng.osaka-u.ac.jp
2024年8月			
31日	「鉄と鋼」第111巻2025年2月発刊特集号「溶鋼の凝固過程における非金属介在物の生成・成長・変性機構の解明を目指す最新研究」原稿募集締切(本号55頁)	日本鉄鋼協会	東京大学 松浦宏行 Tel. 03-5841-7156 matsuura@material.t.u-tokyo.ac.jp
2024年9月			
18～20日	第188回秋季講演大会(大阪)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
30日	「鉄と鋼」第111巻2025年4月発刊特集号「溶融めっき皮膜の機能創出に向けた構造制御の基礎と応用技術」原稿募集締切(本号56頁)	日本鉄鋼協会	名古屋大学 高田尚記 Tel. 052-789-3357 takata.naoki@material.nagoya-u.ac.jp 東京工業大学 上田光敏 Tel. 03-5734-3311 mueda@mtl.titech.ac.jp
2024年10月			
13～17日	2024年粉末冶金国際会議(神奈川)	日本粉末冶金工業会 粉体粉末冶金協会	運営事務局 Tel. 070-3601-5439 worldpdm2024@jtbcom.co.jp
2024年11月			
12～15日	第2回地球環境のための炭素の究極利用技術に関する国際シンポジウム(CUUTE-2)	日本鉄鋼協会	CUUTE-2事務局 cuute-2@or.knt.co.jp
15日	[ISIJ International]2025年5月特集号「Challenges to comprehension for phenomena of degradation, softening, and melting of raw materials in hydrogen-enriched ironmaking process (水素富化製鉄プロセスにおける原料の粉化・軟化・溶融現象の理解への挑戦)」原稿募集締切(本号56頁)	日本鉄鋼協会	九州大学 大野光一郎 Tel. 092-802-2940 ohno.ko-ichiro.084@m.kyushu-u.ac.jp
2024年12月			
31日	「鉄と鋼」第111巻2025年8月発刊特集号「高炉鉄原料の組織と品質」原稿募集締切(11号842頁)	日本鉄鋼協会	東京工業大学 林 幸 Tel. 03-5734-3586 hayashi.m.ae@m.titech.ac.jp

総 合

第187回春季講演大会懇親会のお知らせ（日本金属学会と共催）

1. 日時：2024年3月13日（水）18:00～20:00
2. 場所：東京理科大学 葛飾キャンパス 管理棟2階 学生食堂
（〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1 TEL. 03-5699-2831）
<https://tus-dining.co.jp/access/>
3. 交通：JR常磐線（東京メトロ千代田線）金町駅より徒歩8分



4. 参加費：予約申込 一般6,500円/同伴者^(*) 3,000円
当日申込 一般8,000円/同伴者^(*) 3,000円
* 配偶者を同伴する場合
5. 申込締切：予約申込 2024年2月22日（木）
⇒2月22日（木）の入金をもって、予約申込完了となります。
⇒名誉会員はご招待いたしますので、ご参加を希望される場合は予約申込をお願いします。
当日申込 2024年3月13日（水）懇親会会場受付
⇒現金払いのみお受けいたします。
6. その他：本会ホームページ「イベント>講演大会>併催行事案内>懇親会」をご確認下さい。
<https://www.isij.or.jp/meeting/index.html>

問合せ先：（一社）日本鉄鋼協会 総務グループ 皆川、阿部恵理
TEL: 03-3669-5931 E-mail: admion@isij.or.jp

本会論文誌「速報論文」の趣旨紹介と「ISIJ International」での「速報論文/Short Article」新設について

本会和文論文誌「鉄と鋼」では、原稿種類について「速報論文」を、「寄書」から独立させ、査読期間を短くすることも付与して、2022年4月に新設いたしました。

著者の方々より「速報論文」の趣旨がわかりにくいというご意見があり、定義を見直すとともに、趣旨を以下にご紹介いたします。また、「鉄と鋼」だけでなく、「ISIJ International」にも新設いたしましたことをご知らせいたします。

<「速報論文」の定義について>

速報論文／Short Article：

速報を要する新規性のある研究成果や技術的知見を簡潔にまとめた論文

速報論文には、次の特色もあります。

- (1) おおよそ3週間以内に査読結果を回答
- (2) 「鉄と鋼」と「ISIJ International」の相互転載が可能（電子版発行日から半年以内に限る）

<「速報論文」の趣旨について>

「速報論文」という原稿カテゴリーは、鉄鋼および関連材料の材料・プロセスに関する最新の報告を迅速に発信する場として提供するものです。5頁以内の短報であることから、新規性のある研究成果・技術的知見、考察を論理的かつ簡潔に記述することが

必要です。

従来の本会論文誌では、「速報論文」の内容は「寄書」の中に含まれていました。「寄書」はいわゆるLetterやCommunicationの記事と同じで、論文著者と編集者との間のやりとりを意味したのですが、その中にあった、速報を要するために短いながらも新規性、独創性を有し、学術論文として厳格に査読を行っている内容を「速報論文」として選りわけて独立させることにいたしました。

また、短報の学術論文であることから、英語名称を当初の「Rapid publication」から「Short article」に変更しています。

「速報論文」は、博士課程や修士課程の学生の研究発表、講演大会での発表やポスターセッションなどの内容をまとめた発表を行う場として利用していただくことができます。初回の査読結果を3週間以内に回答いたしますので、スピーディな掲載をすることが可能です。

ただし、「速報論文」は、その形式から「依論文賞」や「澤村論文賞」などの対象論文とはなっていませんが、「鉄と鋼」の「速報論文」は「論文奨励賞」（若手論文賞）の対象としています。

<「ISIJ International」での「Short Article（速報論文）」新設について>

2023年12月より、本会英文論文誌「ISIJ International」にも速報論文として「Short article」を新設いたしました。「鉄と鋼」と同様の定義、特色です。

ぜひご投稿いただきますようお願い申し上げます。

「鉄と鋼」創刊110周年記念事業「論文奨励賞」（若手対象の論文賞）新設と2023年掲載論文の「論文奨励賞」候補論文の自薦・共著者推薦について（推薦締切日：2024年3月18日）

<「鉄と鋼」創刊110周年記念事業「論文奨励賞」新設について>

日本鉄鋼協会では、「鉄と鋼」が2025年に創刊110周年を迎えるにあたり、記念事業として若手研究者の論文を表彰する「論文奨励賞」を新設いたしました。本賞は今回だけの表彰ではなく、継続的に若手研究者を表彰していく論文賞です。

論文奨励賞とは

「鉄と鋼」に掲載された若手の著者による論文で、学術上、技術上特に優れ、かつ将来の発展性が認められた論文を選定し、その著者を表彰いたします。

対象論文・対象者

表彰の対象となる論文は、「鉄と鋼」に掲載された前1か年（1月～12月）の原著の論文および速報論文（レビュー、寄書、技術報告、転載記事は対象には含まれません）。

表彰対象者は、対象論文の筆頭著者であり、表彰年（2025年）の4月1日において満36歳未満の方です（翌年以降は、同賞の受賞歴のないことが条件に加わります）。また、出産や育児、介護などで研究を離れている（た）場合はその休業期間を年齢制限に加算することができます。

なお、対象者の本会会員資格は問いません。

推薦方法

依論文賞と同様に、理事、支部長、鉄鋼メーカー維持会員、学術部会長、論文誌編集委員会委員が推薦者ですが、著者、共著者も推薦が可能です。

<2023年掲載論文の「論文奨励賞」候補論文の自薦・共著者推薦について>

「鉄と鋼」Vol.109 (2023), No.1～No.12に掲載された論文の寄稿者は、論文奨励賞の候補論文に、自著の論文1件に限り、自ら推薦することができます。共著者も推薦が可能です。対象論文、対象者については、上記をご覧ください。（今回は表彰年が2025年ですので、2025年4月1日時点で満36歳未満の筆頭著者の方が対象になります。）

また、同一の論文で依論文賞との重複受賞はできませんが、依論文賞へ同時に推薦することができます。

受賞が決まった場合は、2025年3月開催予定の春季講演大会初日の表彰式で他の論文賞等と一緒に表彰されます。

推薦要領は下記のとおりです。

1. 推薦期間：2023年12月1日（金）～2024年3月18日（月）
2. 推薦方法：本会Webサイトの下記候補論文推薦フォームに入力の上、送信して下さい。
<https://y100.isij.or.jp/acceptance/edit/Award/Ronbun-Shourei/defaults.htm>
3. 問い合わせ先：（一社）日本鉄鋼協会 編集グループ
 TEL: 03-3669-5933 FAX: 03-3669-5934 E-mail: editol@isij.or.jp

「鉄と鋼」第110巻2024年11月発刊特集号「インフラ構造物の腐食劣化に対する診断技術・評価技術・データ利活用技術」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年5月1日）

日本における道路橋の約半数は1970年代までに竣工されており、今後、一斉に修繕もしくは再建築の投資を行わなければならないとされています。しかしながら、そのほとんどを地方自治体が管理しているため、体制面および財政面から客観的かつ定量的で低コストの劣化診断・評価技術が求められています。「インフラ劣化診断のためのデータサイエンス」研究会では、インフラ構造物の腐食劣化状態を把握するための劣化診断・評価技術として、画像解析や他の表界面解析手法、電気化学的手法の検討、さらには機械学習などによるデータの利活用技術について研究活動を進めてきました。

今回、本研究会の分野に関連する研究成果を、鉄鋼協会の会員各位、一般読者に纏まった形で知っていただくことを目的として、特集号を企画しました。原稿を一般からも広く募集いたしますので、奮ってご応募ください。

1. **スコープ**：画像解析や表面解析、電気化学的手法などによるインフラ構造物の腐食劣化診断や評価技術、また劣化診断のためのデータ利活用技術に関する最新の研究を広く取り上げます。
2. **投稿締切**：2024年5月1日（水）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
3. **発刊予定**：「鉄と鋼」2024年11月15日号
4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「鉄と鋼」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
https://tetsutohagane.net/submission/guide_to_authors/
審査は通常の審査方法に準拠します。
5. **企画世話人・問合せ先**：片山英樹 物質・材料研究機構 構造材料研究センター 材料評価分野 分野長
TEL: 029-859-2541 E-mail: KATAYAMA.Hideki@nims.go.jp
6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/tetsutohagane>
電子投稿の操作に関しご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
(TEL: 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp)

「鉄と鋼」第111巻2025年2月発刊特集号「溶鋼の凝固過程における非金属介在物の生成・成長・変性機構の解明を目指す最新研究」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年8月31日）

精錬プロセスにおいて溶鋼中に含まれる一次介在物の生成・組成変化の物理化学や、熱間加工プロセスでの介在物の変性はこれまで詳細に研究され、現場での技術的アプローチの基礎が築かれてきました。その一方、未だに鋼材の欠陥や破壊の原因となる介在物の発生起因の特定に至らないケースも多くあります。特に、鑄造条件や鑄片部位により介在物のサイズや形態が異なり、その結果として凝固組織に差異が現れることがこれまで多数報告されており、このことは凝固過程における介在物制御の重要性を示しています。

以上を踏まえて2020年度に設立された「凝固過程の介在物生成・成長・変性機構」研究会では、溶鋼の凝固過程における介在物の生成・成長・変性のダイナミクスとそれを支配する機構の解明を目指すため、新たな実験・観察手法の開発、凝固組織と介在物の統一的理解、機械学習を用いた解析などの、基礎研究から応用技術開発までの幅広い研究活動が進められてきました。

本研究会の研究成果ならびに関連分野の最新の研究成果を網羅して、日本鉄鋼協会会員および一般読者と成果や知見を共有して当分野の研究・技術が進歩することを目指し、特集号を企画しました。関連する最新研究の発信の場として、研究会関係者のみならず関係各位からの積極的な発表を期待しております。

1. **投稿締切**：2024年8月31日（土）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
2. **発刊予定**：「鉄と鋼」2025年2月15日発刊
3. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「鉄と鋼」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
https://tetsutohagane.net/submission/guide_to_authors/
審査は通常の審査方法に準拠します。
4. **企画世話人・問合せ先**：松浦宏行 東京大学大学院工学系研究科 准教授
TEL: 03-5841-7156 E-mail: matsuura@material.t.u-tokyo.ac.jp
5. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/tetsutohagane>
電子投稿の操作に関しご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
(TEL: 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp)

「鉄と鋼」第111巻2025年4月発刊特集号「溶融めっき皮膜の機能創出に向けた構造制御の基礎と応用技術」原稿募集のご案内（投稿締切日：2024年9月30日）

合金化溶融亜鉛めっき鋼板（GA）や溶融亜鉛めっき鋼板（GI）は耐食性に優れることから、自動車、家電、建材に幅広く使用されています。溶融めっき皮膜の加工性改善に加え、素地鋼板の熱処理・溶融めっき処理・合金化処理等のプロセス制御の新知見が見出されつつありますが、固液界面反応に関する基礎原理に関しては未だ不明な点が多く残されており、近年の高強度鋼板の複雑形状加工の要求等に伴って、溶融めっき皮膜に求められる機能（耐食性、加工性、疲労強度、溶接性、摺動性）も多様化しています。

本特集号では、GA・GI鋼板だけでなくアルミめっき鋼板も含む溶融めっき皮膜の構造解析・機能性の評価、およびそれに関連する理論計算に関する最近の研究成果を広く集約し、種々の機能創出に向けた溶融めっき皮膜の開発の一助となることを目的としています。該当分野の原稿を広く募集いたしますので、奮ってご投稿ください。

1. **投稿締切**：2024年9月30日（月）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
2. **発刊予定**：「鉄と鋼」2025年4月15日発刊
3. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「鉄と鋼」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
https://tetsutohagane.net/submission/guide_to_authors/
審査は通常の審査方法に準拠します。
4. **企画世話人・問合せ先**：高田 尚記 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授
TEL: 052-789-3357 E-mail: takata.naoki@material.nagoya-u.ac.jp
上田 光敏 東京工業大学 物質理工学院 准教授
TEL: 03-5734-3311 E-mail: muda@mtl.titech.ac.jp
5. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/tetsutohagane>
電子投稿の操作に関しご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
（TEL: 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp）

「ISIJ International」2025年5月特集号「Challenges to comprehension for phenomena of degradation, softening, and melting of raw materials in hydrogen-enriched ironmaking process（水素富化製鉄プロセスにおける原料の粉化・軟化・溶融現象の理解への挑戦）」原稿募集のご案内（投稿期限：2024年11月15日）

低炭素化やカーボンニュートラル化を目指した次世代製鉄プロセスにおいては高度な水素利用がキーテクノロジーとなり、水素富化還元条件下における原料の粉化・軟化・溶融の諸現象理解は欠くことができない。これら現象理解から得られた知見は、次世代水素富化高炉では、塊状帯から融着帯にかけての原料の適切な制御指針を与えるとともに、H-DRIプロセスにおいてはシャフト炉内における原料の粉化・変形挙動の適切な制御に資する指針を提供することが期待される。

本特集号では、水素富化還元条件下における原料の粉化・軟化・融着の諸現象理解に関する分野でのアクティビティを強化することを目的に、上記に関する幅広い視点と手法からの最新の研究やレビュー論文等を幅広く募集する。

1. **スコープ**：本特集号では、水素富化還元条件下における製鉄原料（炭材を含む）の粉化、軟化、溶融現象に関する幅広い視点・手法からの最新の研究・レビューを取り上げる。
2. **投稿締切**：2024年11月15日（金）必着
（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます）
3. **発刊予定**：「ISIJ International」2025年5月30日発刊
4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「ISIJ International」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
<https://isijint.net/jp/guide-to-authors/>
審査は通常の審査方法に準拠します。
5. **企画世話人・問合せ先**：大野光一郎 九州大学 大学院工学研究院材料工学部門 教授
TEL: 092-802-2940、E-mail: ohno.ko-ichiro.084@m.kyushu-u.ac.jp
6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/isijint>
電子投稿の操作に関し、ご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
（TEL: 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp）

イベント情報

鉄の技術と歴史研究フォーラム 第43回フォーラム講演会（ハイブリッド講演会）
幕末・明治期の鉄研究会 第3回講演会 開催案内

フォーラム座長 平井 昭司

第43回フォーラム講演会「幕末・明治期の鉄研究会」第3回講演会を、ハイブリッド〔会場及びオンライン配信（Zoom利用）併用〕にて開催いたします。

幕末・明治期における日本の製鉄は、たたら伝統技術を基本に洋鉄の優れたところを自主吸収して近代鉄鋼技術の移植・定着に成功し、西洋の単純延長でない特色ある鉄づくり・鉄利用の基盤を形成させました。

本研究会では、主にこの過程の現地実態調査をしました。特に明治初期の洋式高炉法の先駆けである中小坂鉄山の民営製鉄所から始まった官営製鉄所における操業失敗後の輸入鉄抑制対策として計画された和賀仙人・栗木鉄山の製鉄所の実態と中国地方の旧来からのたたら法の改善・改革などを調査しました。さらに、中央製鉄所構想への原点の事例調査と釜石の田中製鉄所の挽回・発展の過程および中国地方の角炉から近代製鋼業への発展などを調査しました。和鉄から洋鉄への利用変化は、民需は鍛冶や大阪問屋を通し、軍需は制式砲製造をベースとしたところなどを調査しました。

以上調査した内容を本フォーラム講演会でご報告します。

1. 日時：2024年（令和6年）1月27日（土）10:00～17:30
2. 方式：ハイブリッド〔会場及びオンライン配信（Zoom利用）併用〕
3. 会場：東京工業大学 大岡山キャンパス 本館1階 H111講義室
（〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1）
4. 交通：東急大井町線または目黒線 大岡山駅下車 徒歩1分（会場まで約5分）
5. 主催：（一社）日本鉄鋼協会 鉄鋼プレゼンス研究調査委員会 鉄の技術と歴史研究フォーラム
6. 協賛：日本民具学会、日本鋳業史研究会、産業遺産学会鋳山金属分科会、製鉄遺跡研究会、トキ・タカ基金
7. プログラム（各講演には5分間の質疑時間が含まれます。）:

10:00～10:10	開会挨拶	フォーラム座長	平井 昭司
		総合司会 運営委員	穴澤 義功
		司 会 運営委員	香月 節子
		研究会主査	稲角 忠弘
10:10～10:30	1. 幕末・明治期の鉄研究活動報告	東京大学 総合研究博物館	清田 馨
10:30～11:30	2. 【基調講演】日本の鉄鋳床の特徴		
11:35～12:05	3. 幕末明治期の鋳石焙焼と中小坂鋳石による確証実験	○東工大 渡邊 玄、○日本製鐵 砂原 公平、○元新日鉄 稲角 忠弘、 元JFEテクノリサーチ 天辰 正義、中小坂鉄山研究会 園部 洋、原田 喬	
12:05～13:00	昼 食		
		司 会 運営委員	長谷川 渉
13:00～13:30	4. 明治期東大卒論からみた明治中期の製鉄計画 第3報 －栗木鉄山調査および銭函製鉄所、石巻製鉄所計画－	○元新日鉄 稲角 忠弘、元JFEテクノリサーチ 天辰 正義	
13:30～14:30	5. 【基調講演】角炉・丸炉の開発と展開	雲南市教育委員会 文化財課 角田 徳幸	
14:35～15:05	6. 砂鉄精錬業の蘇生—安来製鋼所の海綿鉄生産—	日本民具学会会員 香月 節子	
15:05～15:20	休 憩		
		司 会 運営委員	渡邊 玄
15:20～15:50	7. 幕末、明治期に於ける軍需から見た鉄需要 －大阪砲兵工廠に於ける装箍砲製造と釜石鉄採用過程－	軍事史学会会員 寺西 英之	
15:55～16:25	8. 明治期東大卒論からみた明治中期の製鉄計画 第4報 －釜石田中製鉄所確立過程の現地事情－（仮題）	○元新日 稲角 忠弘、元JFEテクノリサーチ 天辰 正義	
16:30～17:00	9. 明治期東大卒論からみた明治中期の製鉄計画 第5報 －釜石田中製鉄所発展過程の現地事情－（仮題）	○元JFEテクノリサーチ 天辰 正義、元新日鉄 稲角 忠弘	
17:00～17:20	総合討議	運営委員	穴澤 義功
17:20～17:30	閉会挨拶	フォーラム幹事	古主 泰子

8. 参加費：2,000円（消費税込み）

会場参加の方およびオンライン参加の方は、12月18日（月）～1月15日（月）までの間に、参加費を以下の口座にお振込みください。

郵便振替（郵便局備え付けの払込取扱票をご使用下さい。手数料はご本人様負担をお願いします。

郵便振替 口座 00170-4-193
加入者名 シャ）ニホンテッコウキョウカイ

※他金融機関からお振込される場合は下記コードをご使用下さい※
銀行名（銀行コード）：ゆうちょ銀行（9900）
支店名（支店コード）：019店（019）
預金種目：当座
口座番号：0000193
口座名義：シャ）ニホンテッコウキョウカイ

9. 参加申し込み期日：1月15日（月）17:00厳守（必ず、E-mailで申し込むこと）
参加費の振り込みとは別に、参加申し込みをしてください。
10. 参加申し込み記載事項：①氏名、②所属、③郵便番号・住所、④E-mailアドレス、⑤電話番号、⑥会場での参加希望の有無
※申し込みのE-mailには、必ず正確に①～⑥のすべての項目をご記入してください。
※申し込みをされた方には、開催の数日前頃までにオンライン用のURLまたは会場での参加の許可（会場希望が多い場合は、人数を調整させていただきます。）をご連絡します。
また、オンラインでご参加の場合、Zoomにおける参加者名は“参加申込時の氏名”にて、ご参加ください。
※第43回フォーラム講演会論文集は、申し込まれた住所に事前に発送いたします。
11. 参加申し込み先：フォーラム幹事：古主 泰子 E-mail: dzs03530@nifty.com

第3回Meetシリーズ「Material Meets Data」開催のご案内

日程：2024年2月2日（金）
場所：TKPガーデンシティ PREMIUM田町 カンファレンスルーム4E（JR田町駅、地下鉄 三田駅）
(<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-tamachi/access/>)
様式：ハイブリッド
詳細ページ：<https://data-descriptive-science.org/meet/>
参加登録ページ：<https://forms.gle/iyy2kvntUHQE7CxW9>

プログラム（敬称略）		
9:20-9:30	「趣旨説明」	平岡裕章（京都大学）
9:30-10:1	「材料科学とTDA：何ができるようになったか」	赤木和人（東北大学）
10:15-10:55	「トポロジカルデータ解析と自由エネルギー解析を融合した合理的な材料機能解析」	小嗣真人（東京理科大学）
11:00-11:40	「地殻・マントルの岩石－流体反応と組織形成」	岡本敦（東北大学）
11:40-13:30	【昼食】	
13:30-14:10	「X線顕微法で計測された多次元データへのパーシステントホモロジーの応用」	木村正雄（高エネルギー加速器研究機構）
14:15-14:55	「解釈可能AIを用いた材料パターン情報学へ向けた取り組み」	本武陽一（一橋大学）
15:15-15:55	「化学結合リングに基づくガラスと結晶の構造秩序解析」	志賀元紀（東北大学）
16:00-16:40	「アモルファス物性予測に対するパーシステントホモロジーの応用」	南谷英美（大阪大学）
16:40-17:00	「まとめ」	木村正雄（高エネルギー加速器研究機構）

Meetシリーズ・ウェブページ：<https://data-descriptive-science.org/meet/>

「Meetシリーズ」の趣旨：

数学・データ科学・応用をつなぐ学際研究の活性化を目指して、集会「Meetシリーズ」を定期的で開催いたします。各回ごとにテーマを設定し、その方面でご活躍の研究者を講師にお招きし、分野の概説、研究紹介、将来に向けた問題提起などを紹介してもらいます。各講演では背景や全体像の解説も含めることで、異分野の方にもテーマの雰囲気が理解できるように企画します。対象は大学院生などの非専門家も含めますので、興味がある方は是非お気軽にご参加ください。なお本シリーズの過去動画はYouTube「@gakuhen_a_ddds」でご覧になれます。
平岡裕章（京都大学・高等研究院）
学術変革領域（A）「データ記述科学」
ウェブページ：<https://data-descriptive-science.org/>

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふらむ Vol.29 (2024) No.2 掲載記事

Techno Scope

核融合炉に用いられる構造材料

連携記事

核融合炉構造材料の実用化に向けた研究開発の進捗と展望
..... 野澤貴史(量子科学技術研究開発機構)、他

入門講座

エネルギー関連特殊鋼-5

扁平微細粒子を有する熱間加工希土類磁石
..... 楠 的生、他((株) ダイドー電子)

躍動

正しい転位密度って何ですか？
..... 増村拓朗(九州大学)

私の論文

オーステナイト安定度に及ぶ結晶粒径の影響 -10年間の議論
と今後の課題-
..... 土山聡宏(九州大学)

解説

受賞技術-42

自走式精密検査ロボットの開発
..... 小林正樹、他(JFEスチール(株))

論文誌「鉄と鋼」「ISIJ International」の次号目次について

論文受理から掲載までの期間短縮により、2024年1号より次号目次は掲載していません。
各号の掲載論文はJ-STAGEでご覧いただきますようお願いいたします。

鉄と鋼：https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tetsutohagane/-char/ja/
ISIJ International：https://www.jstage.jst.go.jp/browse/isijinternational/-char/ja

会 員 欄
新規入会

相澤 正幸	石原 幸介	小澤 耀生	小宮 健太郎	中島 知紀	本田 英二	柳野 佑輔
赤木 陽	伊藤 健	落合 将志	坂井 駿介	仲宗根 信夫	本馬 剛徳	山口 将史
秋本 忠	入井 涼介	海江田 健作	澤田 大助	中村 慎之介	前内 綾斗	山本 厚
荒井 祐也	上野 博則	加古 安律紗	城野 百合	梨本 展英	前原 俊介	山本 恭平
荒内 隆誓	宇佐見 広大	柏木 卓司	末松 晋平	西田 健太郎	松本 祐樹	山本 紀宏
安東 孝	永畑 駿	片山 享	高野 峻作	二橋 威留	松本 穰	山本 亮二
飯田 啓太	江口 公朗	勝山 湧太郎	高橋 有弥瑠	野田 祐介	三木江 翼	吉村 隆
池田 真昂	江藤 優吾	川崎 亮	高橋 亜門	野間 憲吾	宗像 晋作	力久 弘章
石井 裕樹	大内 凌華	河野 雅子	竹山 好古	羽田 佳哲	村岡 稔基	渡辺 隼
	大川 脩平	神澤 尚揮	竹元 光明	原田 翼	村上 史展	
	大田 宙起	北野 晶也	田中 孝二	平岩 琢朗	村地 俊彦	
	大津 諒平	木村 圭佑	柵橋 拓也	平野 晋吾	目黒 まりん	
	尾木 孝之	工藤 慎也	田邊 顕	廣瀬 隆一	森 進之助	
	奥村 俊介	小林 真樹	坪山 英樹	藤原 優也	森上 雄尊	